

西部地域で乳用牛のヨーネ病検査を実施中

下関農林事務所畜産部

平成 21 年 7 月 8 日

ヨーネ病は牛に慢性頑固な下痢を引き起こし、全国的にも発生が多い家畜伝染病のひとつです。

西部地域は県全体の約 50 %を占める酪農地帯で、現在、6 ヶ月齢以上の全ての乳用牛と県外導入牛を対象に約 2,000 頭のヨーネ病検査を実施しています。

ヨーネ病の病原菌は感染してもすぐには発症しないため、感染拡大しないよう、早期発見し、摘発・淘汰することにより、清浄化の推進とまん延防止に取り組んでいます。



牛の採血



ヨーネ病抗体検査